

令和4年度 学校経営プラン

1. 学校教育目標

みがき合い 支え合う 心豊かでたくましく生きる生徒を目指す

2. 建学の精神 ～校歌より～

「忍と耐」

「一人の友も置きさらじ」

「世界の空を天駆けん」

3. 学校経営方針

自律 共生 創造

4. 目指す生徒像

- (1) 夢や理想の実現に向けて、自ら挑戦し、一生懸命取り組む生徒 (自律)
- (2) 自他の生命を尊重し、思いやりと感謝の心を大切にする生徒 (共生)
- (3) よりよい未来に向けて、学校・地域・社会貢献を進んで行う生徒 (創造)

具体的な目指す姿

自律 (挑戦し、一生懸命取り組む生徒)

- 進んであいさつする礼儀と節度が身に付いた生徒
- 基本的な生活習慣 (時間・食事等) を身に付け、体力向上に努める生徒
- 学習規律と家庭学習の習慣が身に付いた生徒
- わからないこと、できないことがあれば聞き、考えて、成長しようとする生徒

共生 (思いやりと感謝の心をもつ生徒)

- 仲間や後輩のために、心を込めた清掃をする生徒
- まわりを気遣い、「ありがとう」「ごめんなさい」が言える生徒
- 話し合いを通じて、仲間と助け合って生活する生徒

創造 (社会貢献する生徒)

- 活動や学校行事を通じて、仲間とのつながりを深めようとする生徒
- 環境問題に目を向け、限りある資源を大切にしようとする生徒
- 多様な生き方や考え方を理解し、偏見や差別を許さない風土を作る生徒
- 社会や地域の課題に目を向け、ボランティア活動を行う生徒

5. 求める教師像

- (1) 教育に情熱を持ち、一人一人の生徒を大切にする教師
- (2) 人間性や専門性の向上に努める教師
- (3) 多様性を認め、相手の立場に立って考えられる教師
- (4) 教育公務員としての自覚を持ち、誰からも信頼される教師

生徒のやる気に灯をつける教職員に！

○令和3年度の「学校評価」で「求める教師像で『そう思う』と回答した割合」は

- (1) 情熱を持ち、一人一人の生徒を大切にしたい(56.1%)
 - (2) 人間性と専門性の向上に努めた(41.5%)
 - (3) 多様性を認め、相手の立場に立って考えた(48.8%)
 - (4) 教育公務員としての自覚を持ち、誰からも信頼されるよう努めた(65.9%)
- という結果でした。

学校教職員全員で一丸となって取り組むことが、生徒、保護者、地域の信頼を得、学校をよくしていくことに繋がります。一人でも取り組まない人がいると歯車が回りませんし、生徒が苦しむこととなります。生徒のやる気に灯をつけるよう、力を合わせていきましょう。令和4年度は全評価で「そう思う」50%以上を目指したいものです。

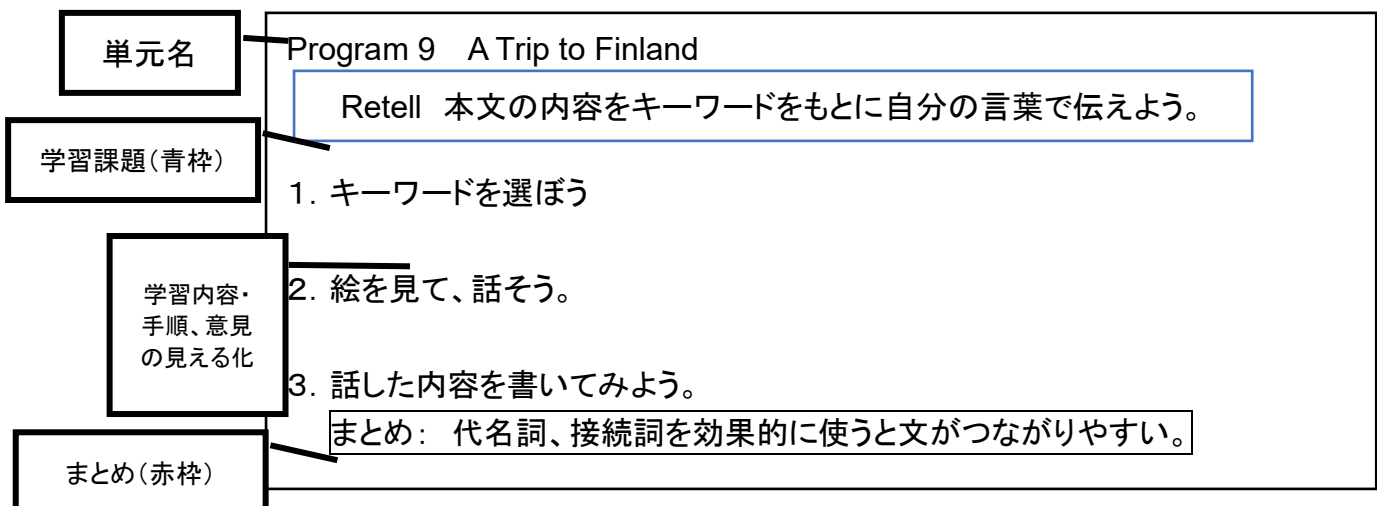
○やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かさず (山本五十六)

6. 重点目標 ～「白山中プライド」構築～ ※参照： ④は R3 学校評価の結果・考察です。

(1) 授業改善により、学ぶ楽しさを感じる授業づくりの推進

① 「わかる授業」づくりの工夫

- ・ わかりやすい板書 —— 「単元名」「学習課題」「意見の分類と提示」「まとめ」



- ・ わかりやすい、やる気が出る教材づくり —— 生徒の実態を指導に活かす
- ・ 「わからない」「やる気がない」生徒を見逃さない

——— できることを一つずつ増やす努力、「教えてーいいよ」の関係づくり

- ・ 授業の見通し、学習のつながりを生徒に持たせる

② タブレットの活用

- ・ 調べ学習、学習の軌跡（ポートフォリオ）の蓄積、共有・協働作業、他との交流
- ・ 自学を促すドリル学習（eライブラリ）や課題解決学習の推進
- ・ 情報活用能力の向上、安全なインターネット使用を可能にする情報モラル学習

③ 学校図書館の活用

- ・ 「白山中生は好きな本をもっています」を合言葉に、読書に親しむ風土づくり
- ・ 「読書、学習・情報センター」としての活用、「昼休みや放課後の居場所づくり」
- ・ 読書を通じた、探究心や知的好奇心の育成

③ 自ら学ぶ力を高める「振り返り」の活用

④ 「協働的な学び」と「個別最適な学び」を実現する授業研究

(2) よりよい生き方に結び付ける、心の教育

- ① よりよい生き方を考え、考えを深める道徳
- ② いじめゼロ。 偏見や差別をしない学校生活
- ③ 美点凝視 互いの違いを楽しむ、他の人から学ぶ

(3) 安全安心な学校生活

- ① 体力の向上
- ② 防災意識の向上
- ③ 食育の推進
- ④ 施設・設備の整備

(4) 生徒主体の実現

- ・ 授業、行事、生徒会活動、部活動で生徒自身が主体の活動を行うことを目指す。

(5) 三つの伝統

- ・ 笑顔のあいさつ
- ・ 心を磨く清掃
- ・ 心に響く歌声

(6) 社会貢献

- ・ SDGsの視点を持った活動の日常化
- ・ 地域貢献（ボランティア活動）の実施

7. 研究&重点課題

(1) 研究テーマ

「自ら、共に学び、活用できる生徒をめざす～個別最適な学びと協働的な学びの探究」

- ・ やる気を引き出し、自ら課題を設定し取り組む、自学力を高める授業づくり
- ・ 授業は小さな社会、助け合いや教え合いで共に学ぶ、愛のある学級づくり
- ・ 「教えてーいいよ」の関係づくり、失敗から学ぶ勇気の育成
- ・ GIGA スクール構想による、タブレット、ICT の積極的活用

(2) 重点課題

① コーチングを活かした、一人一人のよさが発揮される学級、学年、学校づくり

- ・ 目標の共有と役割の明確化。互いを認め合う、支え合う関係作り、温かな言葉かけ
- ・ ルールやマナーが守られる風土
- ・ 一つのことを協力してやり遂げることが大切にされる、意識の育成

② 一人一人の居場所づくり（不登校への対策）

- ・ 相談しやすい、日常的な教育相談の実施、相談しやすい相談室、保健室づくり
- ・ 小さな変化を見逃さない見守りと、家庭との連携を大切にした支援（早期発見）
- ・ 1日休んだら必ず家庭連絡、3日目は家庭訪問を行う。気になっていることがあれば共に解決していく。（早期解決）
- ・ 状況に応じて、本人、保護者の意向を聞きながら、適応教室やヤング手賀沼の紹介や他機関との連携を視野に入れながら、居場所を作り、自立支援を促す。

③ 「総合的な学習の時間」の充実

- ・ 夢や理想を育む、キャリア学習。地域の力を活用した職場体験・職業人講話の実施
- ・ 学年、学校を繋ぐ「キャリア・パスポート」の活用
- ・ 国際理解、情報、環境、多様性等の現代的な諸課題や探究的な課題への取組の充実

④ 働き方改革

- ・ ICT の積極的活用による、ペーパーレス化、効率化の実施
- ・ 業務改善：ノー残業デイ（水曜日）の実施、最終下校時間18時を実施し、その中で活動を行う。
- ・ CS（学校運営協議会）の協力による、外部人材、外部機関との連携

⑤ 学校運営協議会の運用

- ・ R4年度からの発足を踏まえ、学校運営に地域の声を反映し、協力を仰ぐ。

白山中の目指す職員室は・・・

職員室の姿が、生徒の姿に映ります！

1. 健康第一

・まずは先生が元気であることが大事。体調を崩さず、心が元気であるように、規則正しい生活を心がけ、朝食、夕食の取り方、健やかな睡眠に気を配りましょう。

2. ほっとできる場所、仲間

・困った顔、疲れ切った顔の先生がいたら、声を掛け合って、話を聞きましょう。困ったことがあったら、悩まずまわりに聞いてもらって、解決策を探していきましょう。相談される幸せもあります。人に相談する、素直な心、謙虚な心も大切にしていきたいです。

3. 自分らしくいられる場所

・脅す言葉や悪口などが聞こえない職場でありたいです。数年前にニュースで職員室内のいじめが報道されましたが、本校は「先生同士がいたわり合って、自分の考えを臆せず言える」職場にしたいと思います。**職場のいじめはゼロです。**

4. リーダーとフォロワー

・**仕事は自分で考えてこそ本物**です。指示待ちではいつも振り回されるばかりで、中には評論家の立ち位置になる人もいます。実践家であることを大切に。また、自分が主担当のときは、みんなが活動のねらい、動きやすいしくみを作り伝える努力をしていきましょう。周りの人は、フォロワーとして中心になっている先生の考えを理解して、**自分に何が出来るか考えて、動いていきましょう。**

5. 外からの目を見る

・**生徒だったらどう思うか、保護者だったらどう思うか、地域や世間はどう思うか**という違う観点からの見方を常にするような視点を大切にしましょう。電話の出方、言葉遣い、服装など生徒、保護者に見られているという意識も必要です。「学校の常識は非常識」と言われないような社会人としての常識を持っていきたいものです。

6. 小さなうちに解決、大きなものこそ相談

・「**報連相（報告・連絡・相談）＋確認**」を大事にしましょう。まず、「**3人寄れば文殊の知恵**」と言います。相談・話し合いを大切に。連絡は、知らないことがトラブルになりますので、必ず会議等で連絡しましょう。報告はまずあったことを学年主任や担当の先生に知らせること、報告を受けた先生は、教頭先生や教務主任に知らせてください。生徒指導等大きなものは学年主任等に知らせるとともに、教頭先生、校長にも直接伝えてください。報告することで上司に委ねることができます。

・**最後の確認**も大切になります。「できるだろう」と思わず、以前伝えてきたことが伝わっているか、再度事前に確認をしてください。野村克也元監督も指示をしたことは必ず再度確認をして、采配を振るっていたそうです。